

別紙ー3　I C T活用工事（土工　1,000 m³未満）積算要領										
現　　　　　　行					改　　　　　　正					備　　　考
（２）片切掘削（人力併用機械掘削）　100m³当り単価表					（２）片切掘削（人力併用機械掘削）　100m³当り単価表					記載の修正
名　　　　称	規　　　　　格	単位	数量	摘　　　要	名　　　　称	規　　　　　格	単位	数量	摘　　　要	
普　　通　　作　　業　　員		人		表1.4	普　　通　　作　　業　　員		人		表1.4	
バ　　ッ　　ク　　ホ　　ウ （　ク　ロ　ー　ラ　型　）運　転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3　次基準値)山積0.45 m3(平積0.35m3)	日	100/D	表1.3	バ　　ッ　　ク　　ホ　　ウ （　ク　ロ　ー　ラ　型　）運　転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3　次基準値)山積0.45 m3(平積0.35m3)	日	100/D	表1.3	
諸　　　　　　雑　　　　　　費		式	1	(まるめ)	諸　　　　　　雑　　　　　　費		式	1	(まるめ)	
計					計					
(注)　D：日当り施工量					(注)　D：日当り施工量					
（３）削取り又は築立（土羽）及び切土整形　100m³当り単価表					（３）削取り又は築立（土羽）及び切土整形　100m³当り単価表					
名　　　　称	規　　　　　格	単位	数量	摘　　　　　　要	名　　　　称	規　　　　　格	単位	数量	摘　　　　　　要	
土　木　一　般　世　話　役		人		表1.6，表 1.7，表1.8	土　木　一　般　世　話　役		人		表1.6，表 1.7，表1.8	
普　　通　　作　　業　　員		〃		〃	普　　通　　作　　業　　員		〃		〃	
バ　　ッ　　ク　　ホ　　ウ （　ク　ロ　ー　ラ　型　）運　転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日		表1.5 機械損料	バ　　ッ　　ク　　ホ　　ウ （　ク　ロ　ー　ラ　型　）運　転	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日		表1.5 機械損料	
諸　　　　　　雑　　　　　　費		式	1		諸　　　　　　雑　　　　　　費		式	1		
計					計					
(注) D：日当り施工量					(注) D：日当り施工量					
（３）機械運転単価表					（３）機械運転単価表					
機　　　　械　　　　名	規　　　　　格	適用単	指定事項		機　　　　械　　　　名	規　　　　　格	適用単価	指定事項		
バ　　ッ　　ク　　ホ　　ウ （クローラ型） （オープンカット）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3　次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機ー28	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→　44 機　械　損　料　数　量→1.33		バ　　ッ　　ク　　ホ　　ウ （クローラ型） （オープンカット）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3　次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機ー 28 33	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→　44 機　械　損　料　数　量→1.33		
バ　　ッ　　ク　　ホ　　ウ （クローラ型） （片切掘削）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3　次基準値)山積0.45 m3(平積0.35m3)	機ー28	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→　44 機　械　損　料　数　量→1.33		バ　　ッ　　ク　　ホ　　ウ （クローラ型） （片切掘削）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3　次基準値)山積0.45 m3(平積0.35m3)	機ー 28 33	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→　44 機　械　損　料　数　量→1.33		
バ　　ッ　　ク　　ホ　　ウ （クローラ型） （法面整形）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3　次基準値)山積0.45 m3(平積0.35m3)	機ー28	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→　44 機　械　損　料　数　量→1.33		バ　　ッ　　ク　　ホ　　ウ （クローラ型） （法面整形）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3　次基準値)山積0.45 m3(平積0.35m3)	機ー 28 33	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→　44 機　械　損　料　数　量→1.33		

別紙ー3　I C T活用工事（土工　1,000 m³未満）積算要領

現 行		改 正		備 考			
5－2　小規模土工（ＩＣＴ） [参考] 1．各作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。		5－2　小規模土工（ＩＣＴ） [参考] 1．各作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。		記載の修正			
表1. 1　機種の選定		表1. 1　機種の選定					
作業の種類	作業の内容	機 械 名	機械経費			規 格	摘 要
掘 削	標 準	バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）	損料にて計上			標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）	
	上 記 以 外	小型バックホウ （クローラ型）	損料にて計上			標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.13m ³ （平積0.1m ³ ）	
（注）作業の内容における上記以外とは、構造物及び建造物等の障害物により施工条件が制限されるような狭隘な箇所及び1箇所当りの施工土量が50m ³ 以下の箇所とする。							
2. 掘削積込作業及び積込作業 2－1　日当り施工量 バックホウによる掘削積込及び積込作業の日当り施工量は、次表を標準とする。							
表2. 1　日当り施工量（1日当り）							
作業の内容	名 称	規 格	単 位			地 掘 削 山 積 の 込	ル ー ズ な 状 態 の 積
標 準	バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）運 転	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 0.28m ³ （平積0.2m ³ ）	山 積 m ³			40	45
上記以外	バ ッ ク ホ ウ （クローラ型）運 転	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 0.13m ³ （平積0.1m ³ ）	山 積 〃	16	23		
3. 単 価 表 （1）バックホウ掘削積込10m ³ 当り単価表							
名 称	規 格	単 位	数量	摘 要			
バックホウ （クローラ型）運 転	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）又は 山積0.13m ³ （平積0.1m ³ ）	日	10/D	表2.1 機械損料			
諸雑費		単式	1				
計							
（注）D：日当り施工量							
（2）機械運転単価表							
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項				
バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）	機—18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 37 機 械 損 料 数 量 → 1.59				
〃	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.13m ³ （平積0.1m ³ ）	機—18	運 転 労 務 数 量 → 1.00 燃 料 消 費 量 → 23 機 械 損 料 数 量 → 1.33				

別紙―7　ＩＣＴ活用工事（床掘工）積算要領																			
現　　　　　　行		改　　　　　　正																	
別紙―7		別紙―7																	
I C T活用工事（床掘工）積算要領		I C T活用工事（床掘工）積算要領																	
1．適用範囲 本資料は、3次元マシンガイダンス及び3次元マシンコントロール技術を搭載したバックホウを用いて行う以下のいずれかに該当する作業土工（床掘工）に適用する。 ・平均施工幅2 m以上の土砂の掘削等である床掘り ・平均施工幅1 m以上2 m未満の土砂の掘削等である床掘り ・平均施工幅1 m未満の土砂の掘削等である床掘り		1．適用範囲 本資料は、3次元マシンガイダンス及び3次元マシンコントロール技術を搭載したバックホウを用いて行う以下のいずれかに該当する作業土工（床掘工）に適用する。 ・平均施工幅2 m以上の土砂の掘削等である床掘り ・平均施工幅1 m以上2 m未満の土砂の掘削等である床掘り ・平均施工幅1 m未満の土砂の掘削等である床掘り																	
2．機械経費		2．機械経費																	
2－1　機械経費 作業土工（床掘工）の積算で使用するI C T建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、土木工事標準積算基準書　第I編 総則「第2章　工事費の積算」①直接工事費により算定するものとする。		2－1　機械経費 作業土工（床掘工）の積算で使用するI C T建設機械の機械経費は、以下のとおりとする。 なお、損料については、最新の「建設機械等損料算定表」、賃料については、土木工事標準積算基準書　第I編 総則「第2章　工事費の積算」①直接工事費により算定するものとする。																	
①平均施工幅2 m以上の土砂の掘削等である床掘り		①平均施工幅2 m以上の土砂の掘削等である床掘り																	
<table><tr><th>I C T建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td>バックホウ (クローラ型)</td><td>標準型・I C T施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t</td><td>賃料にて計上</td><td>I C T建設機械経費加算額は別途計上</td></tr></table>		I C T建設機械名	規格	機械経費	備考	バックホウ (クローラ型)	標準型・I C T施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	賃料にて計上	I C T建設機械経費加算額は別途計上	<table><tr><th>I C T建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td>バックホウ (クローラ型)</td><td>標準型・I C T施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t</td><td>賃料にて計上</td><td>I C T建設機械経費加算額は別途計上</td></tr></table>		I C T建設機械名	規格	機械経費	備考	バックホウ (クローラ型)	標準型・I C T施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	賃料にて計上	I C T建設機械経費加算額は別途計上
I C T建設機械名	規格	機械経費	備考																
バックホウ (クローラ型)	標準型・I C T施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	賃料にて計上	I C T建設機械経費加算額は別途計上																
I C T建設機械名	規格	機械経費	備考																
バックホウ (クローラ型)	標準型・I C T施工対応型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型(2014年規制) 山積0.8m3(平積0.6m3) 吊能力2.9t	賃料にて計上	I C T建設機械経費加算額は別途計上																
※2－1機械経費のうち、賃料にて計上するI C T施工対応型の機械経費には、地上の基準局・管理局以外の賃貸費用が含まれている。		※2－1機械経費のうち、賃料にて計上するI C T施工対応型の機械経費には、地上の基準局・管理局以外の賃貸費用が含まれている。																	
②平均施工幅1 m以上2 m未満の土砂の掘削等である床掘り (適用土質は、土砂（砂質土及び砂、粘性土、レキ質土）とする)		②平均施工幅1 m以上2 m未満の土砂の掘削等である床掘り (適用土質は、土砂（砂質土及び砂、粘性土、レキ質土）とする)																	
<table><tr><th>I C T建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td>バックホウ (クローラ型)</td><td>後方超小旋回型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>損料にて計上</td><td>I C T建設機械経費加算額は別途計上</td></tr></table>		I C T建設機械名	規格	機械経費	備考	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	損料にて計上	I C T建設機械経費加算額は別途計上	<table><tr><th>I C T建設機械名</th><th>規格</th><th>機械経費</th><th>備考</th></tr><tr><td>バックホウ (クローラ型)</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 ・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>損料にて計上</td><td>I C T建設機械経費加算額は別途計上</td></tr></table>		I C T建設機械名	規格	機械経費	備考	バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	損料にて計上	I C T建設機械経費加算額は別途計上
I C T建設機械名	規格	機械経費	備考																
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	損料にて計上	I C T建設機械経費加算額は別途計上																
I C T建設機械名	規格	機械経費	備考																
バックホウ (クローラ型)	後方超小旋回型・ 超低騒音型 ・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	損料にて計上	I C T建設機械経費加算額は別途計上																

記載の修正

別紙―7　I C T活用工事（床掘工）積算要領						
現　　行			改　　　正			備　　考
[参考] 1. 各作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。			[参考] 1. 各作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。			
表1. 1　機種を選定						
作業の種類	作業の内容	機　械　名	機械経費	規　　　格	摘　　　要	
床　掘　り	施 工 幅 1 m 未 満	バ　ッ　ク　ホ　ウ (クローラ型)	損料にて計上	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）		
床　掘　り	施工幅1m以上 2　m　未　満	バ　ッ　ク　ホ　ウ (クローラ型)	損料にて計上	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第3次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）		
7. 床　掘　作　業						
7－1　施工幅1m未満						
7－1－1　日当り施工量バックホウによる床掘作業の日当り施工量は、次表を標準とする。						
表4. 1　日当り施工量（1日当り）						
名　　　称		規　　　格		単　　位	数　　　量	
バ　ッ　ク　ホ　ウ (ク　ロ　ー　ラ　型)　運　転		後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）		m ³	34	
7－1－2　補助労務						
床掘作業の補助労務は、作業の内容にかかわらず次表を標準とする。						
表4. 2　床掘補助労務（10m ³ 当り）						
名　　　称	単　　位	数　　量	摘　　　要			
普　通　作　業　員	人	0.3	基面整正及び浮き石除去含む			
7－2　施工幅1m以上2m未満						
7－2－1　日当り施工量						
バックホウによる床掘り（作業土工）の日当り施工量は、次表を標準とする。						
表4. 3　日当り施工量（1日当り）						
作業の 内容	名　　称	土質名	規　　　格	単位	数量	
					障害 なし	障害 あり
標準 (平均施工幅1m 以上 2m 未満)	バックホウ (クローラ型) 運転	レキ質土・砂・砂質 土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	163	109
		岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	119	76
(注) 1. 現場条件の内容						
①床掘り（作業土工）						
障害なし：（1）構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない オープン掘削の場合。						
（2）構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない 矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。						
障害あり：（1）床掘作業において障害物等により施工条件に制限がある場合						

別紙―7　I C T活用工事（床掘工）積算要領						
改　　　正			備　　考			
[参考] 1. 各作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。			[参考] 1. 各作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。			
表1. 1　機種を選定						
作業の種類	作業の内容	機　械　名	機械経費	規　　　格	摘　　　要	
床　掘　り	施 工 幅 1 m 未 満	バ　ッ　ク　ホ　ウ (クローラ型)	損料にて計上	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）		
床　掘　り	施工幅1m以上 2　m　未　満	バ　ッ　ク　ホ　ウ (クローラ型)	損料にて計上	後方超小旋回型・超低騒音型 ・排出ガス対策型（第3次基準値） 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）		
7.2. 床　掘　作　業						
7.2－1　施工幅1m未満						
7.2－1－1　日当り施工量バックホウによる床掘作業の日当り施工量は、次表を標準とする。						
表4.2. 1　日当り施工量（1日当り）						
名　　　称		規　　　格		単　　位	数　　　量	
バ　ッ　ク　ホ　ウ (ク　ロ　ー　ラ　型)　運　転		後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m ³ （平積0.2m ³ ）		m ³	34	
7.2－1－2　補助労務						
床掘作業の補助労務は、作業の内容にかかわらず次表を標準とする。						
表4.2. 2　床掘補助労務（10m ³ 当り）						
名　　　称	単　　位	数　　量	摘　　　要			
普　通　作　業　員	人	0.3	基面整正及び浮き石除去含む			
7.2－2　施工幅1m以上2m未満						
7.2－2－1　日当り施工量						
バックホウによる床掘り（作業土工）の日当り施工量は、次表を標準とする。						
表4.2. 3　日当り施工量（1日当り）						
作業の 内容	名　　称	土質名	規　　　格	単位	数量	
					障害 なし	障害 あり
標準 (平均施工幅1m 以上 2m 未満)	バックホウ (クローラ型) 運転	レキ質土・砂・砂質 土・粘性土	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	163	109
		岩塊・玉石	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	m ³	119	76
(注) 1. 現場条件の内容						
①床掘り（作業土工）						
障害なし：（1）構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない オープン掘削の場合。						
（2）構造物及び建造物等の障害物や交通の影響により施工条件が制限されない 矢板のみの土留・仮締切工掘削の場合。						
障害あり：（1）床掘作業において障害物等により施工条件に制限がある場合						

記載の修正

記載の修正

別紙—7 ICT活用工事（床掘工）積算要領

[illegible]

別紙―7　I C T活用工事（床掘工）積算要領																																																								
現　　　　　　行			改　　　　　　正			備　　　　考																																																		
(3－2) バックホウ床掘100m³当り単価表（施工幅1m以上2m未満）			(3-1－2) バックホウ床掘100m³当り単価表（施工幅1m以上2m未満）			記載の変更																																																		
<table><tr><th>名　　　　称</th><th>規　　　　格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘　　　要</th></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.4</td></tr><tr><td>バックホウ （クローラ型）運転</td><td>排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>100/D</td><td>表4.3 機械損料</td></tr><tr><td>諸　　雑　　費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			名　　　　称	規　　　　格	単位		数量	摘　　　要	普通作業員		人		表4.4	バックホウ （クローラ型）運転	排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	100/D	表4.3 機械損料	諸　　雑　　費		式	1		計					<table><tr><th>名　　　　称</th><th>規　　　　格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>摘　　　要</th></tr><tr><td>普通作業員</td><td></td><td>人</td><td></td><td>表4.4</td></tr><tr><td>バックホウ （クローラ型）運転</td><td>標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3) 後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>日</td><td>100/D</td><td>表4.3 機械損料</td></tr><tr><td>諸　　雑　　費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			名　　　　称	規　　　　格	単位	数量	摘　　　要	普通作業員		人		表 4.4	バックホウ （クローラ型）運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3) 後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	100/D	表 4.3 機械損料	諸　　雑　　費		式	1		計				
名　　　　称	規　　　　格	単位	数量	摘　　　要																																																				
普通作業員		人		表4.4																																																				
バックホウ （クローラ型）運転	排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	100/D	表4.3 機械損料																																																				
諸　　雑　　費		式	1																																																					
計																																																								
名　　　　称	規　　　　格	単位	数量	摘　　　要																																																				
普通作業員		人		表 4.4																																																				
バックホウ （クローラ型）運転	標準型・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3) 後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	日	100/D	表 4.3 機械損料																																																				
諸　　雑　　費		式	1																																																					
計																																																								
(注) D：日当り施工量			(注) D：日当り施工量																																																					
(4) 機械運転単価表			(4-2) 機械運転単価表																																																					
<table><tr><th>機　　械　　名</th><th>規　　　　格</th><th>適用単価表</th><th>指　　定　　事　　項</th></tr><tr><td>バックホウ （クローラ型）</td><td>標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）</td><td>機―18</td><td>運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59</td></tr><tr><td>〃</td><td>標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.13m³（平積0.1m³）</td><td>機―18</td><td>運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→23 機械損料数量→1.33</td></tr><tr><td>〃</td><td>後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）</td><td>機―18</td><td>運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59</td></tr><tr><td>バックホウ （クローラ型） （床掘り）</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>機―28</td><td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→44 機械損料数量→1.33</td></tr></table>			機　　械　　名	規　　　　格	適用単価表	指　　定　　事　　項	バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）	機―18	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59	〃	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.13m³（平積0.1m³）	機―18	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→23 機械損料数量→1.33	〃	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）	機―18	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59	バックホウ （クローラ型） （床掘り）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機―28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→44 機械損料数量→1.33	<table><tr><th>機　　械　　名</th><th>規　　　　格</th><th>適用単価表</th><th>指　　定　　事　　項</th></tr><tr><td>バックホウ （クローラ型）</td><td>標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）</td><td>機―18</td><td>運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59</td></tr><tr><td>〃</td><td>標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.13m³（平積0.1m³）</td><td>機―18</td><td>運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→23 機械損料数量→1.33</td></tr><tr><td>〃 バックホウ （クローラ型）</td><td>後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）</td><td>機―18 33</td><td>運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59</td></tr><tr><td>バックホウ （クローラ型） （床掘り） 〃</td><td>後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)</td><td>機―28 33</td><td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→44 機械損料数量→1.33</td></tr></table>			機　　械　　名	規　　　　格	適用単価表	指　　定　　事　　項	バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）	機―18	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59	〃	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.13m³（平積0.1m³）	機―18	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→23 機械損料数量→1.33	〃 バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）	機― 18 33	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59	バックホウ （クローラ型） （床掘り） 〃	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機― 28 33	運転労務数量→1.00 燃料消費量→44 機械損料数量→1.33											
機　　械　　名	規　　　　格	適用単価表	指　　定　　事　　項																																																					
バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）	機―18	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59																																																					
〃	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.13m³（平積0.1m³）	機―18	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→23 機械損料数量→1.33																																																					
〃	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）	機―18	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59																																																					
バックホウ （クローラ型） （床掘り）	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機―28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→44 機械損料数量→1.33																																																					
機　　械　　名	規　　　　格	適用単価表	指　　定　　事　　項																																																					
バックホウ （クローラ型）	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）	機―18	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59																																																					
〃	標準型・排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.13m³（平積0.1m³）	機―18	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→23 機械損料数量→1.33																																																					
〃 バックホウ （クローラ型）	後方超小旋回型・ 排出ガス対策型（第2次基準値） 山積0.28m³（平積0.2m³）	機― 18 33	運転労務数量→1.00 燃　料　消　費　量→37 機械損料数量→1.59																																																					
バックホウ （クローラ型） （床掘り） 〃	後方超小旋回型・超低騒音型 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積0.45m3(平積0.35m3)	機― 28 33	運転労務数量→1.00 燃料消費量→44 機械損料数量→1.33																																																					

別紙―１５　ＩＣＴ活用工事（地盤改良工）（安定処理）積算要領		
現　　　　　　行	改　　　　　　正	備　　　考
①安定処理（ＩＣＴ）〔路床〕 $P' = P \times \left\{ \left(\left(\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right) \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Kr}{K1r + K2r + K3r} \right. \\ \left. + \left(\left(\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} \right) \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r} \right. \\ \left. + \left(\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r} \right. \\ \left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \right\}$ ※P' は有効数字４桁、５桁目切り上げ ※K1 をバックハウ、K2 をタイヤローラ、K3 を振動ローラ、R1 を運転手（特殊）、R2 を普通作業員、R3 を土木一般世話役、Z1 を固化材、Z2 を軽油とする。ただし、K1t' は、バックハウ(クローラ型)（ＩＣＴ施工対応型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）山積 0.5m3（平積 0.4m3）吊能力 2.9t とし、「２－１ 機械経費」の単価を用いる。 ②安定処理（ＩＣＴ）〔構造物基礎〕 $P' = P \times \left\{ \left(\left(\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} \right) \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Kr}{K1r + K2r} \right. \\ \left. + \left(\left(\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right) \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r} \right. \\ \left. + \left(\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r} \right. \\ \left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \right\}$ ※P'は有効数字４桁、５桁目切り上げ ※K1 をバックハウ、K2 を振動ローラ、R1 を土木一般世話役、R2 を運転手（特殊）、R3 を特殊作業員、R4 を普通作業員、Z1 を固化材、Z2 を軽油とする。ただし、K1t' は、バックハウ(クローラ型)（ＩＣＴ施工対応型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（第３次基準値）山積 0.8m3(平積 0.6m3) 吊能力 2.9t とし、「２－１ 機械経費」の単価を用いる。	①安定処理（ＩＣＴ）〔路床〕 $P' = P \times \left\{ \left(\left(\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right) \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Kr}{K1r + K2r + K3r} \right. \\ \left. + \left(\left(\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} \right) \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r} \right. \\ \left. + \left(\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r} \right. \\ \left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \right\}$ ※P' は有効数字４桁、５桁目切り上げ ※K1 をバックハウ、K2 をタイヤローラ、K3 を振動ローラ、R1 を運転手（特殊）、R2 を普通作業員、R3 を土木一般世話役、Z1 を固化材、Z2 を軽油とする。ただし、K1t' は、バックハウ（クローラ型）―(ＩＣＴ施工対応型)―〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型（20112014年規制）〕山積 0.5m3（平積 0.4m3）吊能力 2.9 t とし、「２－１ 機械経費」の単価を用いる。 ②安定処理（ＩＣＴ）〔構造物基礎〕 $P' = P \times \left\{ \left(\left(\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} \right) \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Kr}{K1r + K2r} \right. \\ \left. + \left(\left(\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right) \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r} \right. \\ \left. + \left(\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} \times \frac{1}{1.04} \right) \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r} \right. \\ \left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \right\}$ ※P'は有効数字４桁、５桁目切り上げ ※K1 をバックハウ、K2 を振動ローラ、R1 を土木一般世話役、R2 を運転手（特殊）、R3 を特殊作業員、R4 を普通作業員、Z1 を固化材、Z2 を軽油とする。ただし、K1t' は、バックハウ（クローラ型）―(ＩＣＴ施工対応型)―〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付き・排出ガス対策型―（第３次基準値2014年規制）〕山積 0.8m3(平積 0.6m3)吊能力 2.9t とし、「２－１ 機械経費」の単価を用いる。	記載の修正

別紙― 1 6 I C T活用工事（地盤改良工）（中層混合処理）積算要領																									
現 行		改 正			備 考																				
4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 中層混合処理工（I C T）における、I C T建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 5. 施工箇所が点在する I C T活用工事の積算について 施工箇所が点在する工事に該当する場合は、土木工事標準積算基準書「第 1 編第 2 章 工事費の積算」及び「第 I 編第 11 章 施工箇所が点在する工事の積算」により積算するものとする。 6. 土木工事標準積算基準書に対する補正 6－1 作業日当り標準作業量の補正 中層混合処理工（I C T）を実施する場合の標準日当り作業量は、積算基準によるものとする。 ※変更積算については実際に I C T施工による数量についてのみ補正するものとする。 6－2 単価表の補正 積算基準の「6. 単価表（1）中層混合処理工 1 0 0 m3当り単価表」にて建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>ICT建設機械経費加算額</td><td></td><td>日</td><td>100/D</td><td>機械賃料数量 1.68</td></tr></table> （注）D：1 日当り作業量（m3／日） 7. 諸雑費 中層混合処理工（I C T）を実施する場合、諸雑費率を乗じる合計額に、I C T建設機械経費加算額は含めない。		名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額		日	100/D	機械賃料数量 1.68	4. 3次元出来形管理・3次元データ納品の費用、外注経費等の費用 中層混合処理工（I C T）における、I C T建設機械の施工履歴データを用いた出来形管理の経費は、補正係数を乗じない共通仮設費率及び現場管理費率に含まれる。 5. 施工箇所が点在する I C T活用工事の積算について 施工箇所が点在する工事に該当する場合は、土木工事標準積算基準書「第 1 編第 2 章 工事費の積算」及び「第 I 編第 11 章 施工箇所が点在する工事の積算」により積算するものとする。 6. 土木工事標準積算基準書に対する補正 6－1 作業日当り標準作業量の補正 中層混合処理工（I C T）を実施する場合の標準日当り作業量は、積算基準によるものとする。 ※変更積算については実際に I C T施工による数量についてのみ補正するものとする。 6－2 単価表の補正 積算基準の「6. 単価表（1）中層混合処理工 1 0 0 m3当り単価表」にて建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>ICT建設機械経費加算額</td><td></td><td>日</td><td>100/D</td><td>機械賃料数量 1.68</td></tr></table> （注）D：1 日当り作業量（m3／日） 7. 諸雑費 中層混合処理工（I C T）を実施する場合、諸雑費率を乗じる合計額に、I C T建設機械経費加算額は含めない。			名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額		日	100/D	機械賃料数量 1.68	記載の変更
名称	規格	単位	数量	指定事項																					
ICT建設機械経費加算額		日	100/D	機械賃料数量 1.68																					
名称	規格	単位	数量	指定事項																					
ICT建設機械経費加算額		日	100/D	機械賃料数量 1.68																					

記載の変更

別紙—17 ICT活用工事（地盤改良工）（スラリー攪拌工）積算要領

現 行						改 正						備 考	
		二軸式 55～60kW×2	杭径 1,000mm 打設長（L）10m超え 20m以下					二軸式 55～60kW×2	杭径 1,000mm 打設長（L）10m超え 20m以下				
		二軸式 90kW×2	杭径 1,000mm 打設長（L）20m超え 40m以下					二軸式 90kW×2	杭径 1,000mm 打設長（L）20m超え 40m以下				
① スラリー攪拌工（I C T）二軸施工（変位低減型）													
I C T建設機械名		規格		適用		機械経費		備考					
深層混合処理機 スラリー式		二軸式 45kw×2		杭径 1,000mm 打設長(L)3m超え 10m以下		損料にて計上		I C T建設機械 経費加算額は別 途計上					
		二軸式 55～60kW×2		杭径 1,000mm 打設長（L）10m超え 20m以下									
		二軸式 75～90kW×2		杭径 1,000mm 打設長（L）20m超え 30m以下									
		二軸式 90kW×2		杭径 1,000mm 打設長（L）30m超え 40m以下									
		二軸式 90kW×2 最大施工深度 10 m		杭径 1,600mm 打設長（L）3m超え 10m以下									
		二軸式 90kW×2 最大施工深度 20 m		杭径 1,600mm 打設長（L）10m超え 20m以下									
		二軸式 90kW×2 最大施工深度 26 m		杭径 1,600mm 打設長（L）20m超え 26m以下									
		二軸式 90kW×2 最大施工深度 36 m		杭径 1,600mm 打設長（L）26m超え 36m以下									
2－2 I C T建設機械経費加算額 I C T建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局 の賃貸費用とし、2－1 機械経費にて計上する I C T建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。													

		二軸式 55～60kW×2	杭径 1,000mm 打設長（L）10m超え 20m以下					二軸式 55～60kW×2	杭径 1,000mm 打設長（L）10m超え 20m以下				
		二軸式 90kW×2	杭径 1,000mm 打設長（L）20m超え 40m以下					二軸式 90kW×2	杭径 1,000mm 打設長（L）20m超え 40m以下				
① スラリー攪拌工（I C T）二軸施工（変位低減型）													
I C T建設機械名		規格		適用		機械経費		備考					
深層混合処理機 スラリー式		二軸式 45kw×2		杭径 1,000mm 打設長(L)3m超え 10m以下		損料にて計上		I C T建設機械 経費加算額は別 途計上					
		二軸式 55～60kW×2		杭径 1,000mm 打設長（L）10m超え 20m以下									
		二軸式 75～90kW×2		杭径 1,000mm 打設長（L）20m超え 30m以下									
		二軸式 90kW×2		杭径 1,000mm 打設長（L）30m超え 40m以下									
		二軸式 90kW×2 最大施工深度 10 m		杭径 1,600mm 打設長（L）3m超え 10m以下									
		二軸式 90kW×2 最大施工深度 20 m		杭径 1,600mm 打設長（L） 40 3m 超え 20m以下									
		二軸式 90kW×2 最大施工深度 26 m		杭径 1,600mm 打設長（L）20m超え 26m以下									
		二軸式 90kW×2 最大施工深度 36 m		杭径 1,600mm 打設長（L）26m超え 36m以下									
2－2 I C T建設機械経費加算額 I C T建設機械経費損料加算額は、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局 の賃貸費用とし、2－1 機械経費にて計上する I C T建設機械に適用する。 なお、加算額は、以下のとおりとする。													

別紙―19　I C T活用工事（地盤改良工）（サンドコンパクションパイル工）積算要領																																																									
現　　　　　　行					改　　　　　　　　正					備　　考																																															
費の積算」及び「第Ⅰ編第11章　施工箇所が点在する工事の積算」により積算するものとする。 6．土木工事標準積算基準書に対する補正 6－1　単価表の補正 積算基準の「4．単価表（2）サンドコンパクションパイル工　単価表」にて建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><td>名称</td><td>規格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>指定事項</td></tr><tr><td>ICT建設機械経費加算額</td><td></td><td>日</td><td>L/D</td><td>機械損料数量 1.84</td></tr></table> (注) L：杭1本当たり打設長（m） D：1日当たり標準施工量（m/日） なお、1日当たりの標準施工量は以下のとおりとする。 <table><tr><td>区　　分</td><td>規格・使用</td><td>単位</td><td>施工数量</td></tr><tr><td rowspan="3">サンドコンパ クションパイル工</td><td>打設長　10m未満</td><td>m</td><td>180</td></tr><tr><td>打設長　10m以上20m未満</td><td>m</td><td>170</td></tr><tr><td>打設長　20m以上35m未満</td><td>m</td><td>170</td></tr></table>					名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額		日	L/D	機械損料数量 1.84	区　　分	規格・使用	単位	施工数量	サンドコンパ クションパイル工	打設長　10m未満	m	180	打設長　10m以上20m未満	m	170	打設長　20m以上35m未満	m	170	費の積算」及び「第Ⅰ編第11章　施工箇所が点在する工事の積算」により積算するものとする。 6．土木工事標準積算基準書に対する補正 6－1　単価表の補正 積算基準の 「4．単価表（2）サンドコンパクションパイル工　単価表」 「第Ⅵ編土木工事標準単価及び市場単価　第2章市場単価　①軟弱地盤処理工」にて建設機械に取付ける各種機器及び基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><td>名称</td><td>規格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>指定事項</td></tr><tr><td>ICT建設機械経費加算額</td><td></td><td>日</td><td>L/D</td><td>機械損料数量 1.84</td></tr></table> (注) L：杭1本当たり打設長（m） D：1日当たり標準施工量（m/日） なお、1日当たりの標準施工量は以下のとおりとする。 <table><tr><td>区　　分</td><td>規格・使用</td><td>単位</td><td>施工数量</td></tr><tr><td rowspan="3">サンドコンパ クションパイル工</td><td>打設長　10m未満</td><td>m</td><td>180</td></tr><tr><td>打設長　10m以上20m未満</td><td>m</td><td>170</td></tr><tr><td>打設長　20m以上35m未満</td><td>m</td><td>170</td></tr></table>					名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額		日	L/D	機械損料数量 1.84	区　　分	規格・使用	単位	施工数量	サンドコンパ クションパイル工	打設長　10m未満	m	180	打設長　10m以上20m未満	m	170	打設長　20m以上35m未満	m	170
					名称	規格	単位	数量	指定事項																																																
					ICT建設機械経費加算額		日	L/D	機械損料数量 1.84																																																
					区　　分	規格・使用	単位	施工数量																																																	
					サンドコンパ クションパイル工	打設長　10m未満	m	180																																																	
						打設長　10m以上20m未満	m	170																																																	
						打設長　20m以上35m未満	m	170																																																	
					名称	規格	単位	数量	指定事項																																																
					ICT建設機械経費加算額		日	L/D	機械損料数量 1.84																																																
					区　　分	規格・使用	単位	施工数量																																																	
サンドコンパ クションパイル工	打設長　10m未満	m	180																																																						
	打設長　10m以上20m未満	m	170																																																						
	打設長　20m以上35m未満	m	170																																																						
記載の変更																																																									

別紙―2 3　I C T活用工事（河川浚渫）積算要領																								
現　　　　　　行		改　　　　　　　　正		備　　　考																				
・補正係数を乗じて算出される金額<受注者からの見積による金額 ②受注者からの見積による金額を計上する場合 ・補正係数を乗じて算出される金額>受注者からの見積による金額 5．施工箇所が点在する I C T活用工事の積算について 施工箇所が点在する工事に該当する場合は、土木工事標準積算基準書「第 1 編第 2 章　工事費の積算」及び「第 I 編第 11 章　施工箇所が点在する工事の積算」により積算するものとする。 6．土木工事標準積算基準書に対する補正 6－1　浚渫能力の補正 積算基準の「4．浚渫船の運転、4－1　浚渫能力（単位時間当り浚渫量）」の記述により算出されるQ（バックホウ浚渫船1時間当たり浚渫量）については、これに1.05を乗じる。（小数第2位止め、四捨五入） ※変更積算においては実際に I C T施工による数量についてのみ補正するものとする。 Q＝4 7．8 q × α × E × β Q：バックホウ浚渫船1時間当り浚渫量（m³／h） q：バックホウバケット容積（m³） α：土質係数 E：作業係数 β：補正率（1．0 5） 6－2　単価表の補正 積算基準の「7．単価表（5）機械運転単価表のバックホウ浚渫船」にて、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><td>名称</td><td>規格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>適用</td></tr><tr><td>ICT建設機械経費加算額</td><td></td><td>供用日</td><td>1. 51</td><td>賃料</td></tr></table>		名称	規格	単位	数量	適用	ICT建設機械経費加算額		供用日	1. 51	賃料	・補正係数を乗じて算出される金額<受注者からの見積による金額 ②受注者からの見積による金額を計上する場合 ・補正係数を乗じて算出される金額>受注者からの見積による金額 5．施工箇所が点在する I C T活用工事の積算について 施工箇所が点在する工事に該当する場合は、土木工事標準積算基準書「第 1 編第 2 章　工事費の積算」及び「第 I 編第 11 章　施工箇所が点在する工事の積算」により積算するものとする。 6．土木工事標準積算基準書に対する補正 6－1　浚渫能力の補正 積算基準の「4．浚渫船の運転、4－1　浚渫能力（単位時間当り浚渫量）」の記述により算出されるQ（バックホウ浚渫船1時間当たり浚渫量）については、これに1.05を乗じる。（小数第2位止め、四捨五入） ※変更積算においては実際に I C T施工による数量についてのみ補正するものとする。 Q＝4 7．8 q × α × E × β Q：バックホウ浚渫船1時間当り浚渫量（m³／h） q：バックホウバケット容積（m³） α：土質係数 E：作業係数 β：補正率（1．0 5） 6－2　単価表の補正 積算基準の「7．単価表（5）機械運転単価表のバックホウ浚渫船」にて、建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><td>名称</td><td>規格</td><td>単位</td><td>数量</td><td>適用</td></tr><tr><td>ICT建設機械経費加算額</td><td></td><td>供用日</td><td>1. 51</td><td>賃料</td></tr></table>		名称	規格	単位	数量	適用	ICT建設機械経費加算額		供用日	1. 51	賃料	記載の変更
名称	規格	単位	数量	適用																				
ICT建設機械経費加算額		供用日	1. 51	賃料																				
名称	規格	単位	数量	適用																				
ICT建設機械経費加算額		供用日	1. 51	賃料																				

別紙— 2 7 I C T活用工事（舗装工（修繕工））積算要領																																																									
現 行		改 正			備 考																																																				
5. 施工箇所が点在する I C T活用工事の積算について 施工箇所が点在する工事に該当する場合は、土木工事標準積算基準書「第 1 編第 2 章 工事費の積算」及び「第 I 編第 11 章 施工箇所が点在する工事の積算」により積算するものとする。 6. 土木工事標準積算基準書に対する補正 6－1 単価表の補正（切削オーバーレイ工） 積算基準の「9. 単価表（2）機械運転単価表」にて建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>指定事項</th></tr><tr><td rowspan="4">ICT建設機械経費加算額 （切削オーバーレイ工）</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">日</td><td rowspan="4">100/D</td><td>7cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28</td></tr><tr><td>7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28</td></tr><tr><td>7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械損料数量 1. 28</td></tr><tr><td></td></tr></table> （注）D：日当り施工量（m2／日） 6－2 単価表の補正（路面切削工） 建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>指定事項</th></tr><tr><td rowspan="4">ICT建設機械経費加算額 （路面切削工）</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">日</td><td rowspan="4">100/D</td><td>6cm以下 機械損料数量 1. 56</td></tr><tr><td>6cmを超え12cm以下 機械損料数量 1. 38</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr></table> （注）D：日当り施工量（m2／日） 7. 諸雑費 舗装工（修繕工）（I C T）を実施する場合、諸雑費率を乗じる合計額に、I C T建設機械経費加算額は含めない。		名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額 （切削オーバーレイ工）		日	100/D	7cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28	7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28	7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械損料数量 1. 28		名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額 （路面切削工）		日	100/D	6cm以下 機械損料数量 1. 56	6cmを超え12cm以下 機械損料数量 1. 38			5. 施工箇所が点在する I C T活用工事の積算について 施工箇所が点在する工事に該当する場合は、土木工事標準積算基準書「第 1 編第 2 章 工事費の積算」及び「第 I 編第 11 章 施工箇所が点在する工事の積算」により積算するものとする。 6. 土木工事標準積算基準書に対する補正 6－1 単価表の補正（切削オーバーレイ工） 積算基準の「9. 単価表（2）機械運転単価表」にて建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>指定事項</th></tr><tr><td>ICT建設機械経費加算額 （切削オーバーレイ工）</td><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">日</td><td rowspan="4">100/D</td><td>7cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28</td></tr><tr><td>7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28</td></tr><tr><td>7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械損料数量 1. 28</td></tr><tr><td></td></tr></table> （注）D：日当り施工量（m2／日） 6－2 1 単価表の補正（路面切削工） 建設機械に取付ける各種機器及び地上の基準局・管理局の賃貸費用としての「ICT建設機械経費加算額」を以下のとおり加算する。 <table><tr><th>名称</th><th>規格</th><th>単位</th><th>数量</th><th>指定事項</th></tr><tr><td rowspan="4">ICT建設機械経費加算額 （路面切削工）</td><td rowspan="5"></td><td rowspan="5">日</td><td rowspan="5">100/D</td><td>6cm以下 機械損料数量 1. 56</td></tr><tr><td>6cmを超え12cm以下 機械損料数量 1. 38</td></tr><tr><td></td></tr><tr><td></td></tr></table> （注）D：日当り施工量（m2／日） 7. 諸雑費 舗装工（修繕工）（I C T）を実施する場合、諸雑費率を乗じる合計額に、I C T建設機械経費加算額は含めない。			名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額 （切削オーバーレイ工）		日	100/D	7cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28	7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28	7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械損料数量 1. 28		名称	規格	単位	数量	指定事項	ICT建設機械経費加算額 （路面切削工）		日	100/D	6cm以下 機械損料数量 1. 56	6cmを超え12cm以下 機械損料数量 1. 38			記載の変更
名称	規格	単位	数量	指定事項																																																					
ICT建設機械経費加算額 （切削オーバーレイ工）		日	100/D	7cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28																																																					
				7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28																																																					
				7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械損料数量 1. 28																																																					
名称	規格	単位	数量	指定事項																																																					
ICT建設機械経費加算額 （路面切削工）		日	100/D	6cm以下 機械損料数量 1. 56																																																					
				6cmを超え12cm以下 機械損料数量 1. 38																																																					
名称	規格	単位	数量	指定事項																																																					
ICT建設機械経費加算額 （切削オーバーレイ工）		日	100/D	7cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28																																																					
7cmを超え12cm以下 一層舗設 機械損料数量 1. 28																																																									
7cmを超え12cm以下 二層舗設 機械損料数量 1. 28																																																									
名称	規格	単位	数量	指定事項																																																					
ICT建設機械経費加算額 （路面切削工）		日	100/D	6cm以下 機械損料数量 1. 56																																																					
				6cmを超え12cm以下 機械損料数量 1. 38																																																					

記載の変更